シグマ45

寺沢武一

非売品

45

部長……
あの男を
呼ぶとなると
今回の出来事は
よほど
重大な事件だと
見えますね！
重大な事件か
単なる
偶然なのかは……
あの男が
調査してから
わかることだよ
テーラー君
フフフ……
ハナがきく
ことにかけては
あの男……
ブリンナーに
まさる者は
いないからな!!

で……これがその問題の漂流物だというわけですか…?

いっけん何かの手首のようだがある種の生物の奇型では……

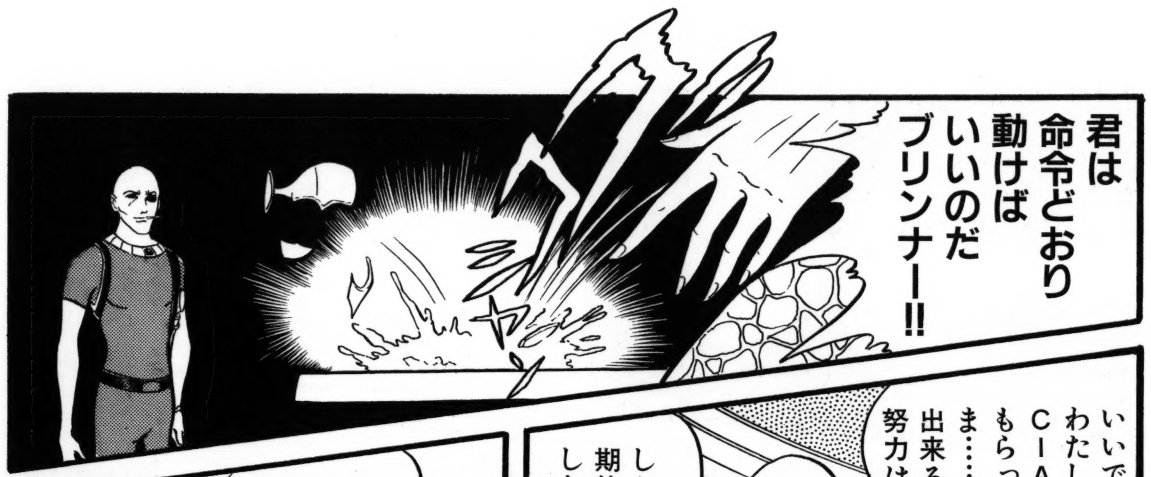
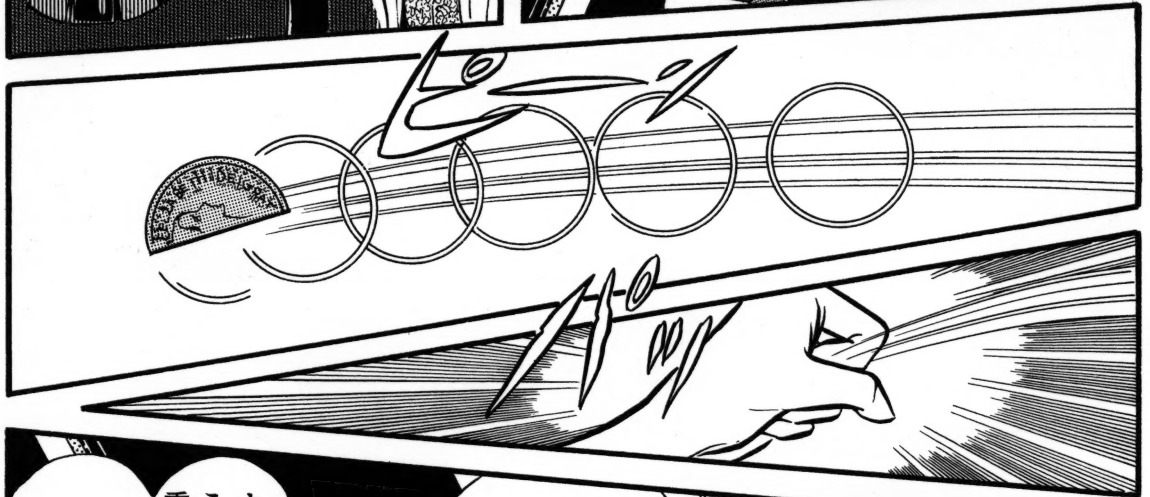
海洋汚染で二つ首の魚が泳ぎまわる御時世だなにも我々CIAが関知するほどの問題でもないでしょう

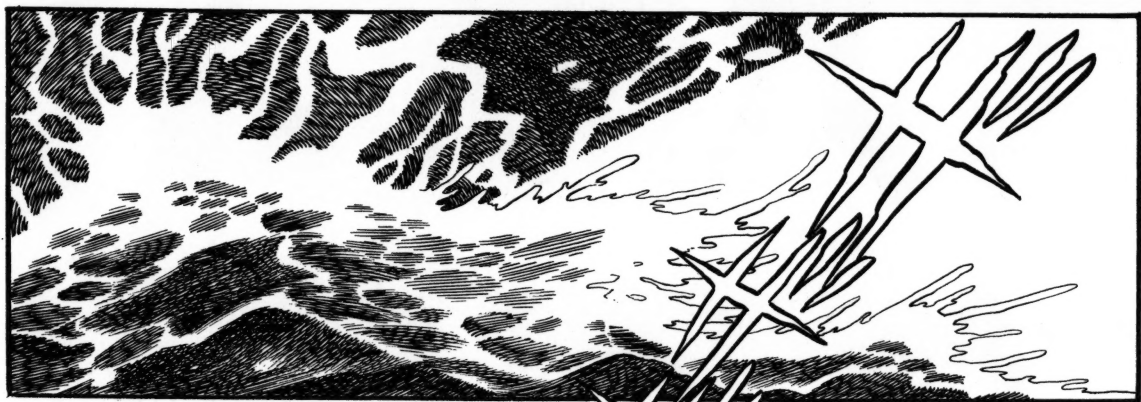
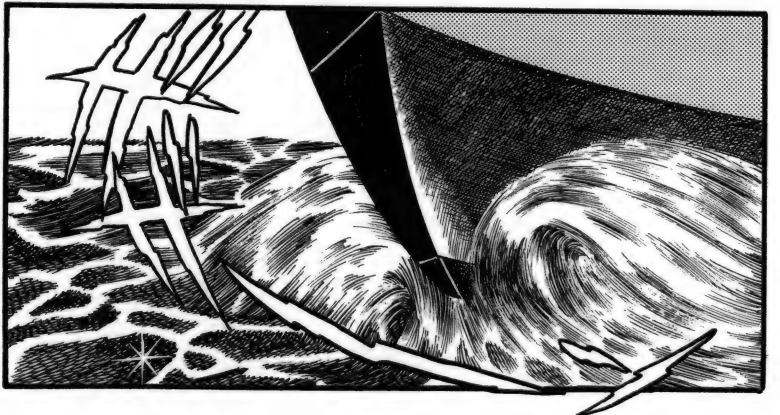
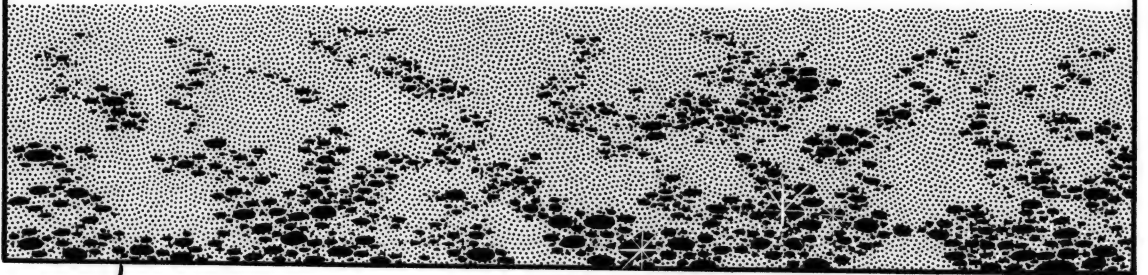
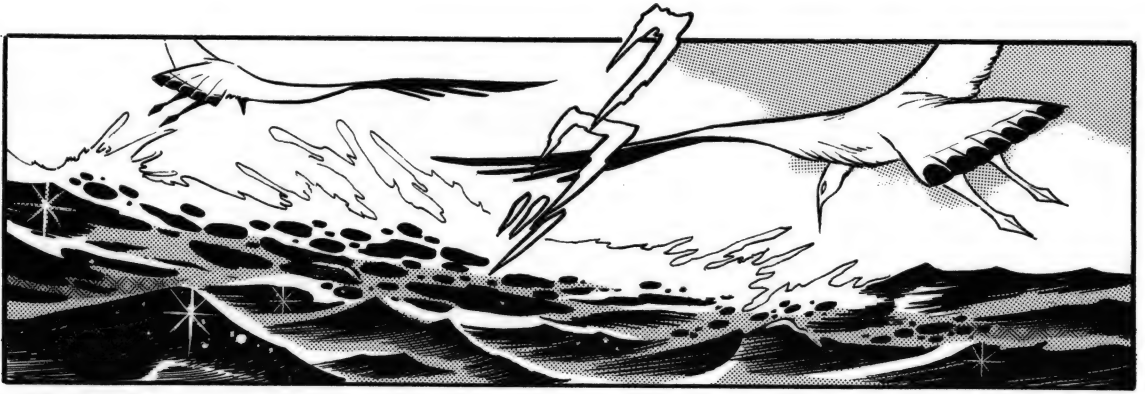
われわれの研究班の解剖の結果この組織形態はまさしく人間のものとでた
いいかねブリンナー君これは単なる事件ではないのだよ

それに他にも理由があるこれが発見されたハドリバーグ海岸付近で最近謎の蒸発事件が起きている……
あの付近で遊泳していた者が続々と行方不明になるというのだまるで神隠しにでもあったようにな

フロリダ州警察はいまのところ溺死と断定しているが……
あの海岸線は遠浅で……しかもいずれにせよ水死体はまったく見つかっていない！

で……この奇妙な手首とそのことがどこかでつながっていると…

それを調べるのがブリンナー君君の役目だ
とりこし苦労だと思いますがね部長！
わたしとしても国家予算のむだ使いは気がひけるんでね

君は
命令どおり
動けば
いいのだ
ブリンナー!!
いいでしょう
わたしも
CIAから給料を
もらってる身だ
ま……
出来るだけ
努力はしますよ
しかし部長
期待は
しないで下さい
まて!!
ブリンナー
これを
持ってゆけ
ピーン
パッ
なんです
これは?
君も
国連の特務機関
オメガボーン
のことは
知っているな
オメガボーンでも
この事態を
重視している
よって
この調査は
彼らと合同で
行うことになる

オメガボーンでは
すでに
すご腕の人物を
ハドリバーグ海岸
へ向かわせた……
その男が
もう片方の銀貨を
持っている
それが君との
連絡方法だ
で……
その男の
名は…!?
本名は
わからん
ただ彼は……
〝Σ(シグマ)45〟と
あだ名で
呼ばれている
シグマ45…!!

―ハドリバーグ海岸―

その調子
すてきよっ！
そう
もっと上を向いて
そうよ
あなたは
人魚なのよっ！

ねえ！
ねえさん
どうだった？
ええ
ジェーン
上出来よっ
わたしの
イメージに
ぴったりだわ！

ジェーン
あなたは
ダイビングスーツ
のイメージを
変えたわ

この夏
パロマ社の
スーツの新作
テーマは
ファッショナブルに
より大胆に
そして
人魚のように
水を切る！

そうね
女の子だって
もっと気軽に
水中散歩を
楽しむべきよ
水の中は
男どもだけの
世界では
ないものねっ!!

その意見に
わたしは
反対だね！

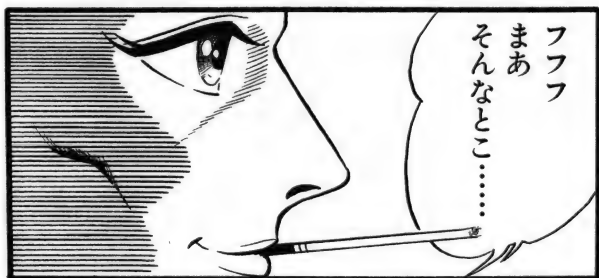
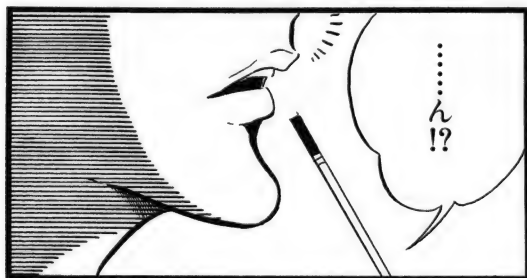
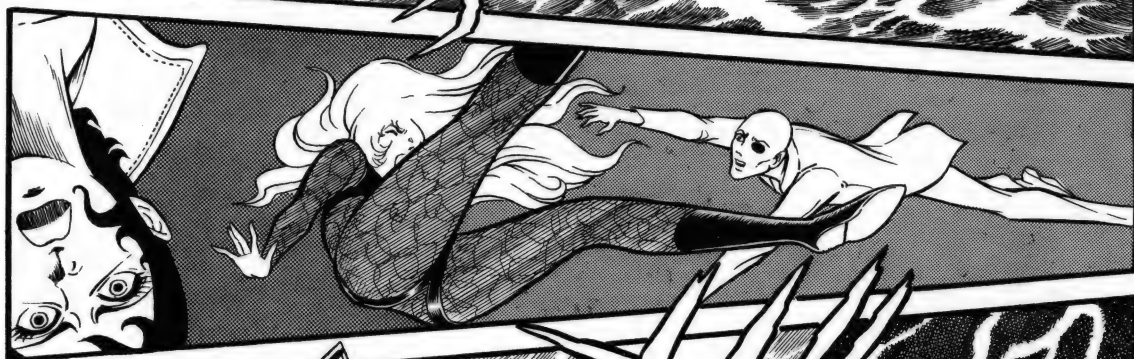
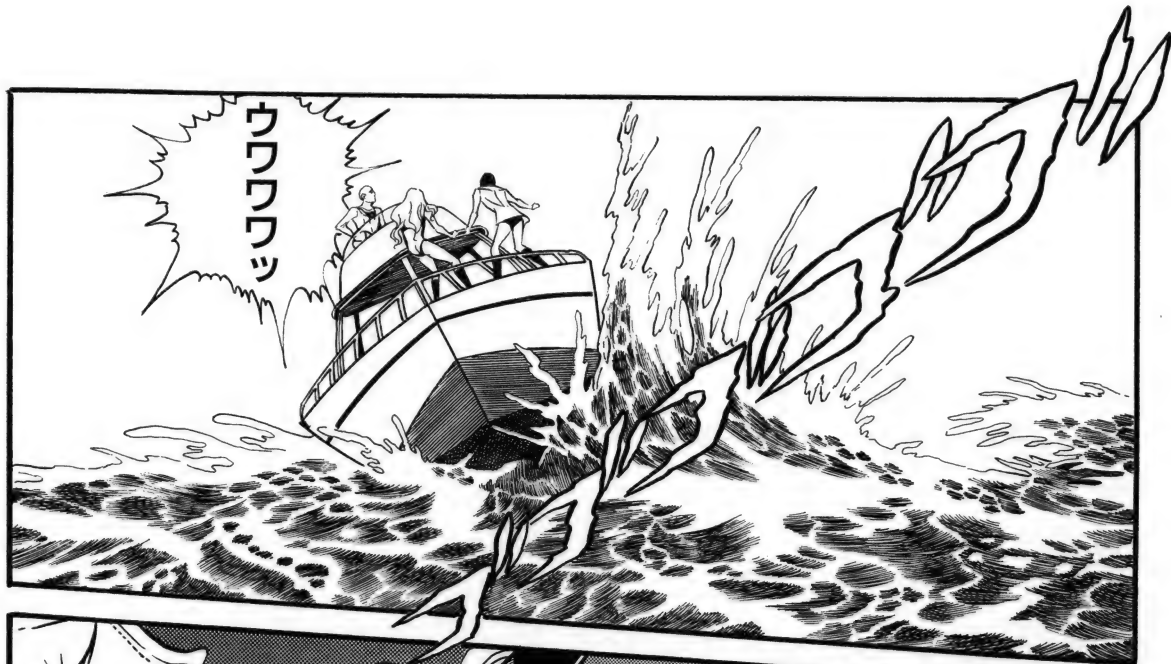
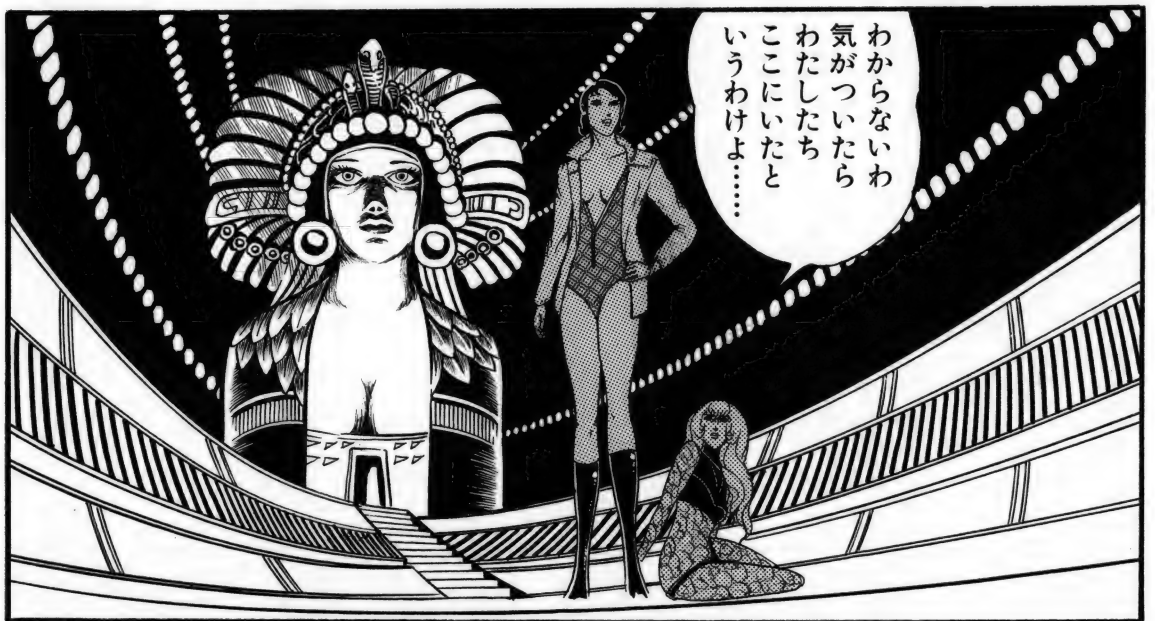
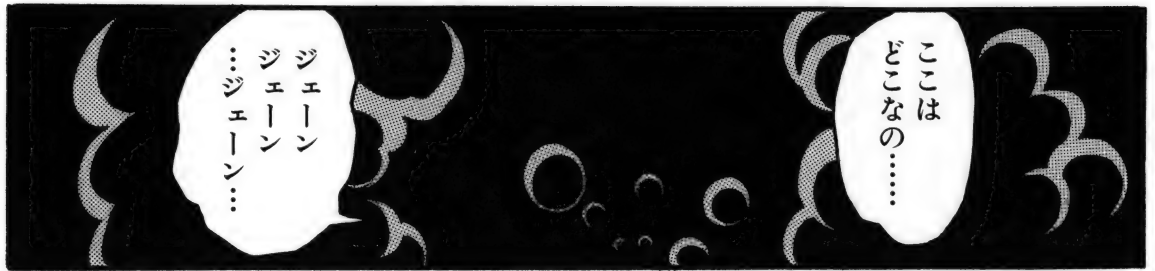
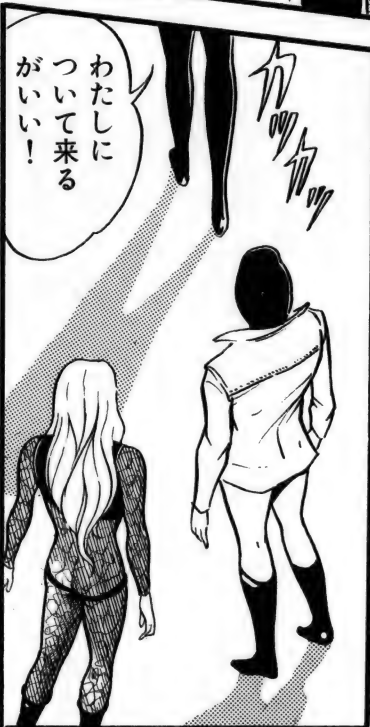
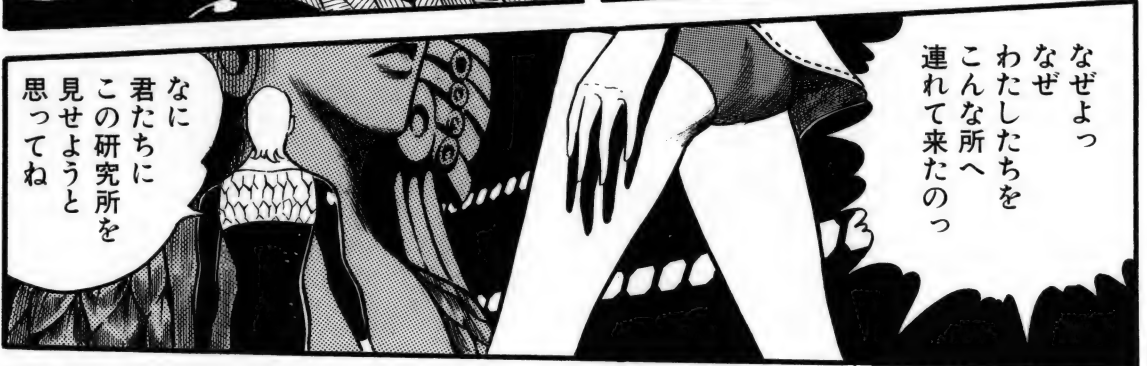
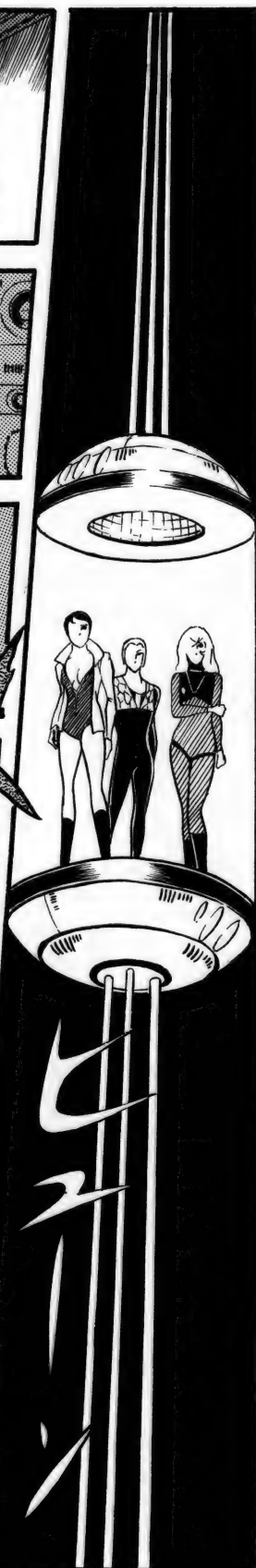
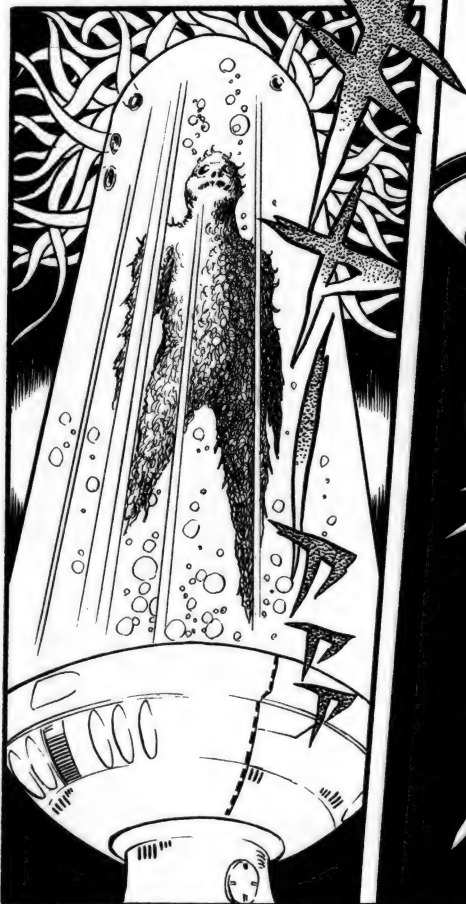
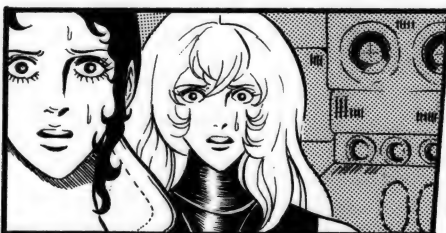
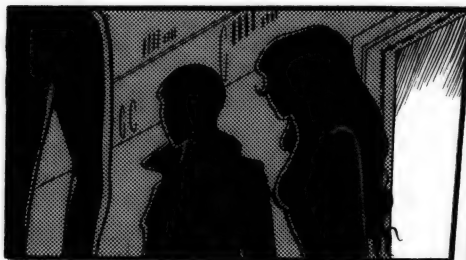
君たちは
海をあまく
見すぎている
ようだな

水中散歩だと
笑わせるな
海の中はな
未開のジャングル
と同じさ
女の子の
お遊びようには
出来ていないのだ!

あなた
誰なの?
勝手にひとの
船に乗り込んで
沿岸パトロールを
呼ぶわよっ

パトロール……!?
君たちのほうが
こまるんじゃ
ないのか
この海岸は現在
封鎖されている
この近辺で
起こっている
蒸発事件のことを
知らないとは
いわせないぞっ

ええ……
知って
いたわ

でもわたしたち
撮影のため
ぜひこの海岸が
必要だったのよ
……

!?

ボコ
ボコ

グラ
グラ

何なの
あれはっ

ウワワワッ

ゴボ ゴボ ゴボ ゴボ
ゴボ ゴボ ゴボ

ここはどこなの……
ジェーン
ジェーン
…ジェーン…

だいじょうぶ
ジェーン…
ええ……
なんとも
ないわ
ここは…!?

わからないわ
気がついたら
わたしたち
ここにいたと
いうわけよ……

ようこそ
ご気分は
どうかな!!

まあなんですってだれもこんな所へ連れて来てとはたのんでないわ！

カッ カッ

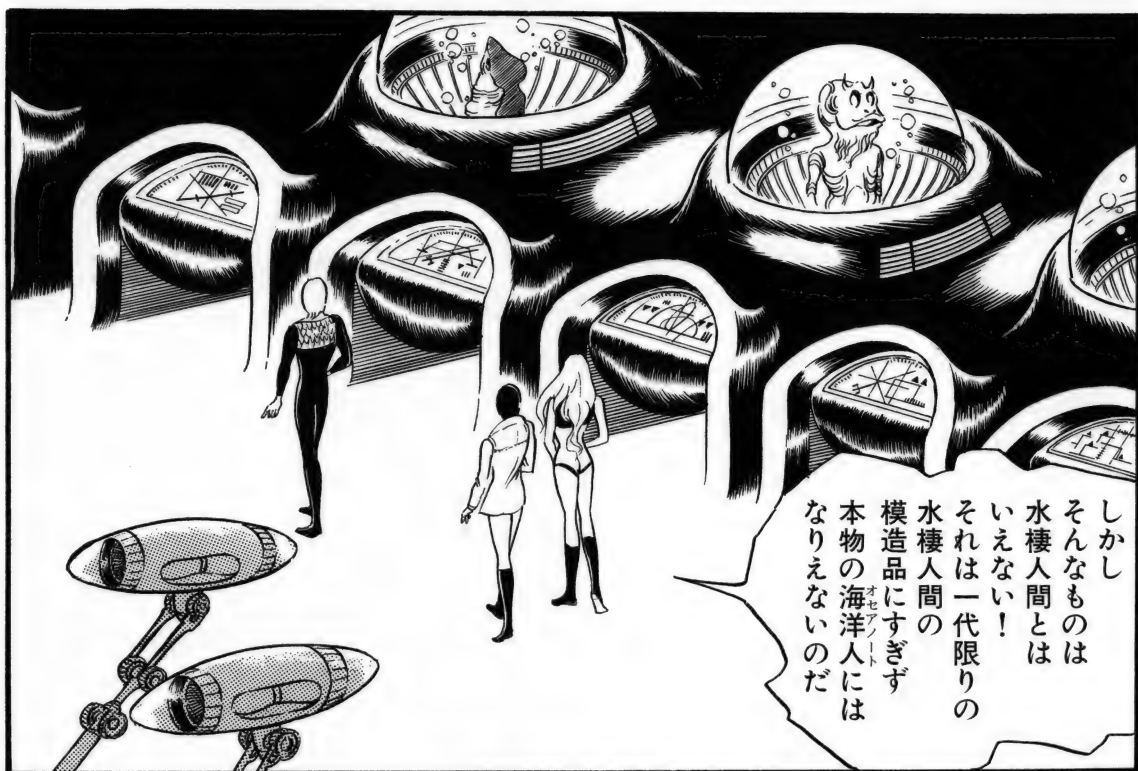
わたしについて来るがいい！

ジェーン
落ちついて！
いやよ
いやよ
怖いわ
ねえさん

あれは
何なの!?

そいつか
そいつは
出来そこないさ
しかし
わたしのミスでは
ないぞっ
やつの
遺伝子が
あまりにも
おそまつだった
せいだ

そう…!?
あなた
ホフマン博士ね
何かの雑誌で
あなたの顔を
見たことが
あるわっ

ホフマン博士
海洋学・および
遺伝工学の権威
なんでも彼は
地球が遠からず
海中に没する
という説を信じ
人間を魚人化する
研究論文を
学会へ発表した
しかし
異端の説として
学会から
否認された後
その後彼の姿を
見たものはいない

しかし そんなものは水棲人間とはいえない! それは一代限りの水棲人間の模造品にすぎず本物の海洋人(オセアノート)にはなりえないのだ

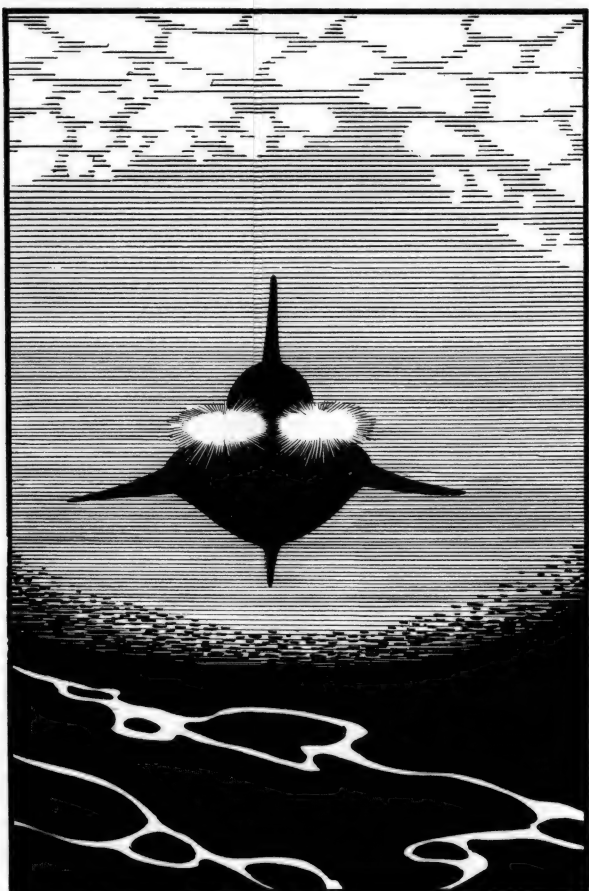
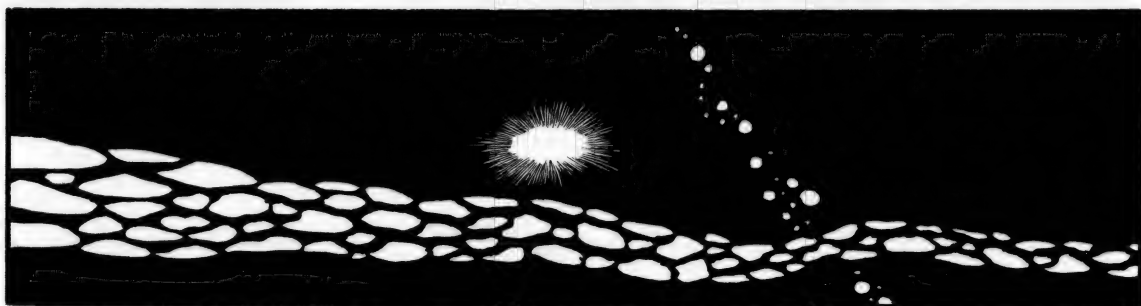
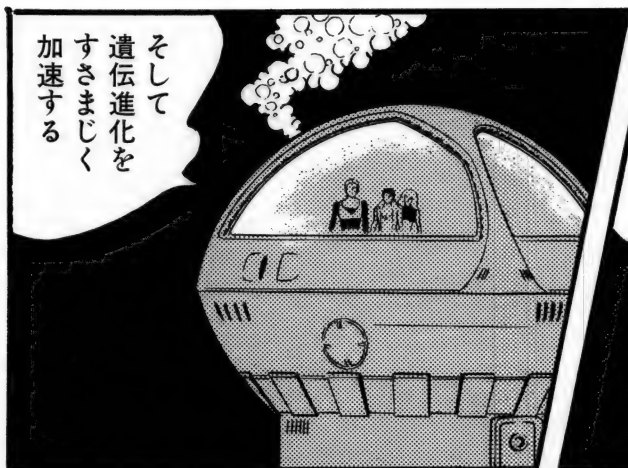
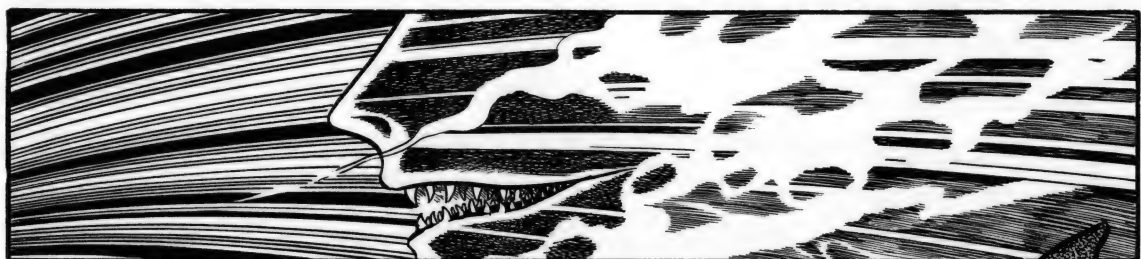
人間と
海の生物を
融合させ……
そして
遺伝進化を
すさまじく
加速する

見るがいい！

こうして
生まれたのが……

彼
「アダム」
なのだっ!!

アアアッ

フフフ……

どうかね
あのアダムこそ
遺伝工学と
生体融合とが
生みだした……

新人類
水棲人間（ギル・メン）
なのだっ

ア……アア
アアアアア……
もうやめて

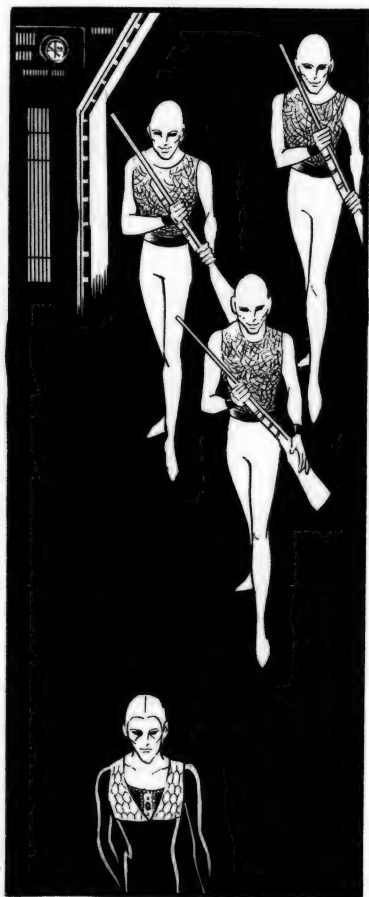
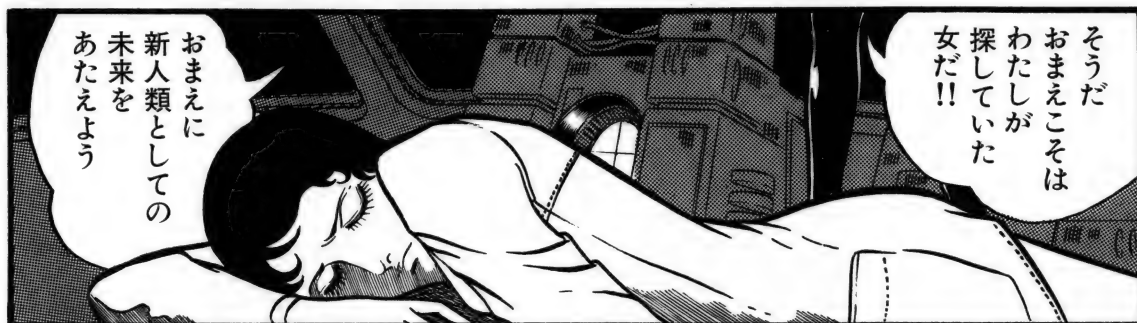
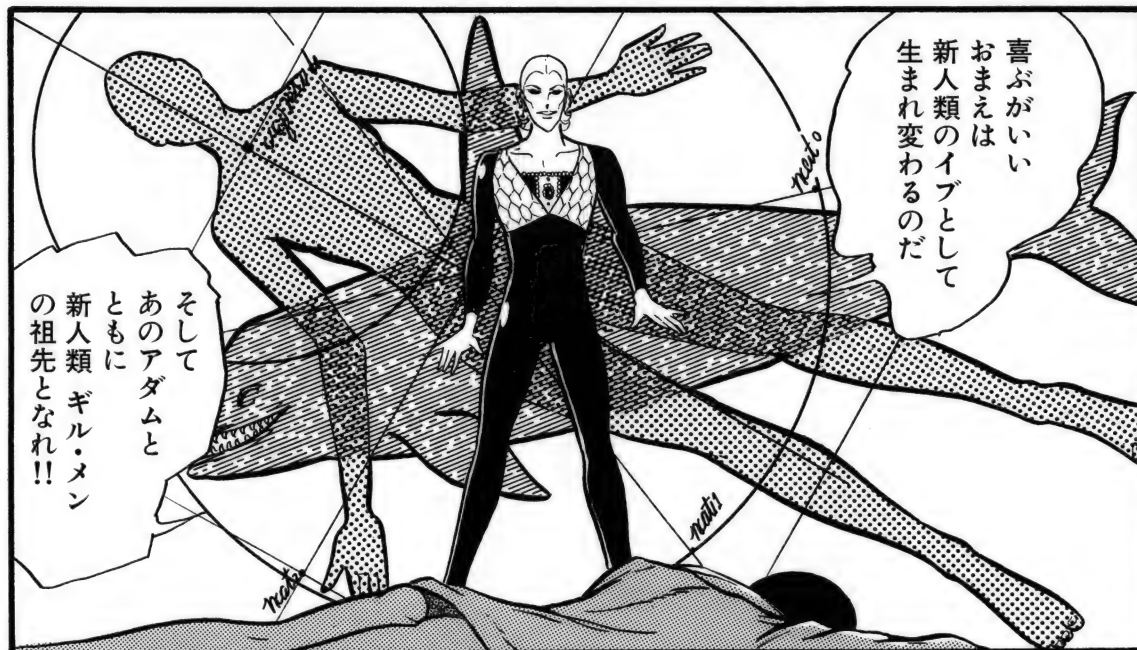
ねえさん
ここから
出ましょう
怖いのよっ
わたし
怖いのよっ
……
ジェーン
ふん
おくびょう者め
……!!

あの
金髪の女を
例の部屋へ
入れておけ

ジェーン!!
待て!

妹を
どこへ
連れていったの…
心配はいらん
何もしやしない
わたしは
さわがしいのは
きらいでね

あ…!!

体が
体が
しびれて……

水棲人間の
未来のため
その祖先と
なるべき人間は
強い…よりすぐれた
人間で
なければならない
精神…肉体
ともに
虚弱な人間には
新人類としての
資格がない

そうだ
おまえこそは
わたしが
探していた
女だ!!
おまえに
新人類としての
未来を
あたえよう

喜ぶがいい
おまえは
新人類のイブとして
生まれ変わるのだ
そして
あのアダムと
ともに
新人類 ギル・メン
の祖先となれ!!

おねがーいっ
ここから出してーっ

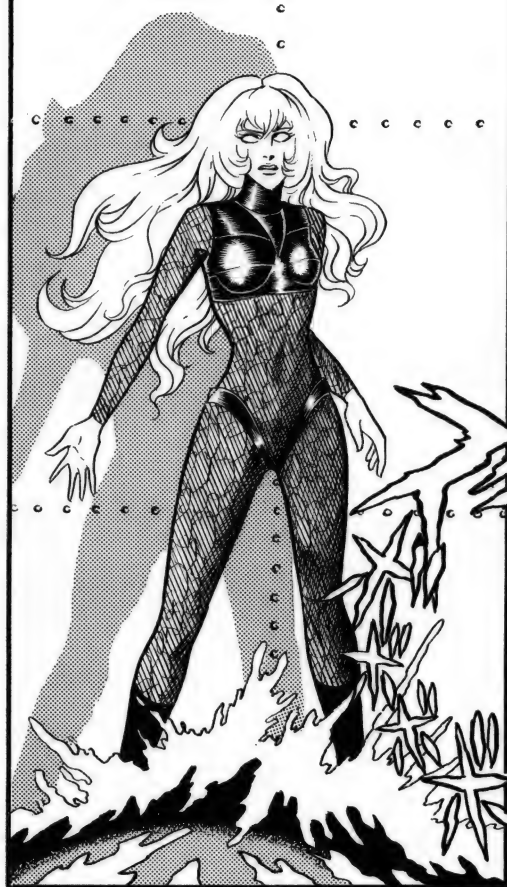
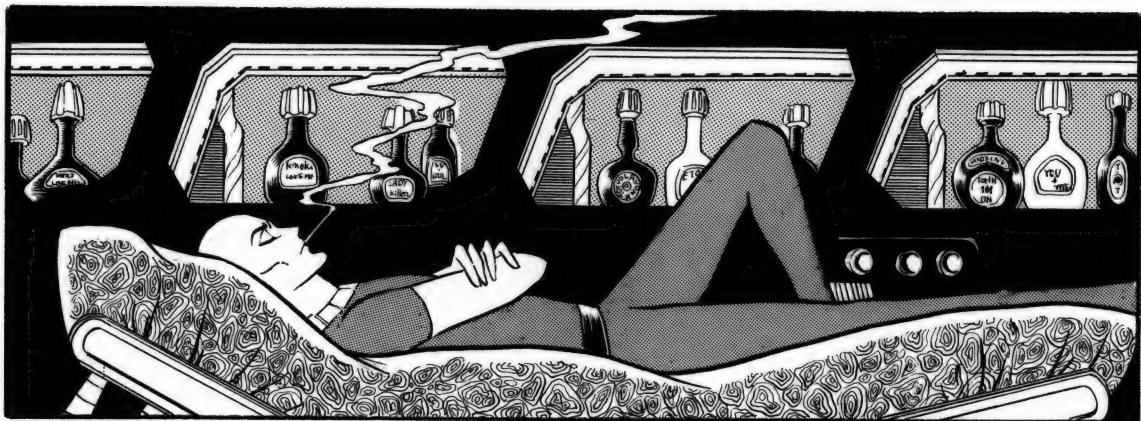
ゴボゴボ
……!?
あああああ——

カッカッ

やあ
博士！
どうだい
今度の実験体(マテリアル)は？

ああ
彼女は
最高の実験体(マテリアル)だ
これで
新人類の
アダムとイブは
誕生するわけだ

ブリンナー
君も祝ってくれ
新人類の未来を!!

未来にか
フフフ……
オレには
関係ないさ
オレは今現在を
楽しく
生きられれば
満足なのさっ
おまえには
金だけが
生きがいと
いうわけだな

しかし
気をつけてくれ
CIAは
このことに
気づき始めた!

心配はいらん
明日中には
わたしの研究も
終止符をうつ
しかしCIAも
まぬけな連中だな
よりによって
わざわざ
おまえを調査に
よこすとはな!
実は……
わたしの陰の
協力者である
・・・・
おまえをな

あんたは
金持ちだ
おれがすきなのは
それだけさ
ピーン

しかし……
一つ気になる
ことがある
オメガボーンが
ある人物を
調査へ送ったと
いうが……

オメガボーン!?
国連の
秘密特務機関の
ことか?

シグマ45と
呼ばれる
すご腕の
エージェント
らしい……
やつのことは
うわさだけは
聞いたことが
あるが……

なんでも
恐ろしく強力な
破壊力を持つ
銃をあつかうと
聞いている

心配はいらんさ
この研究所には
ネコの子
一ぴき
もぐりこめん

ではわたしはこれで失礼する仕事があるんでな

カッ
カッ

……

心配はないぞ
レイラ……
この実験は
すでに
アダムでは
成功を
おさめている

見るがいい!!
ヒュ
ヒュ

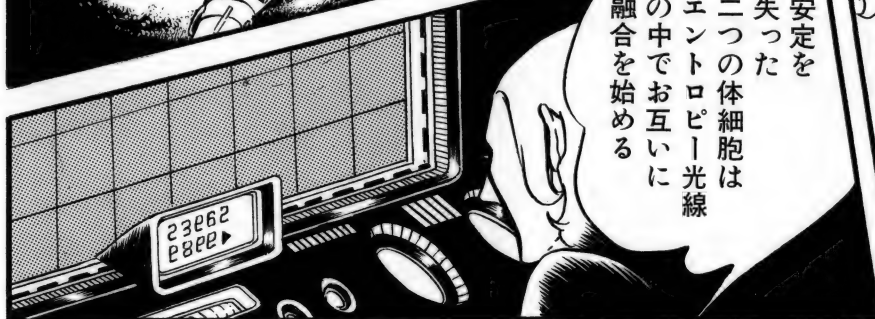
シャチ!
五十ノットに
近い高速と
あの破壊的な顎
そして
生まれながらの
戦士の気質を
もってすれば……
生身の生物で
これに
かなうものは
まずいない

このシャチと
人間とが
結合するのだ!
さすれば
大海においても
人類はまさしく
王者になりうる!!

そして
おまえこそ
新人類の
イブとして
ふたたび
目を
さますのだ!

そして その時こそ わたしは 新人類の 創造者と なりうる
彼らは わたしを神と 呼ぶだろう!!

いま
彼女の
体細胞は
すべての
結合の
束縛をとかれ
不安定な
コロイド状態へと
変化をする
同じく
シャチの体細胞も
コロイド状態に
変化を終えた……
うむっ
シャチはっ！
そして
この二つの
細胞は
まじりあい
一つの生物へと
生長するのだ

安定を失った二つの体細胞はエントロピー光線の中でお互いに融合を始める
いくつかの細胞塊が形成され……
SR型放射線が二つの異なった染色体を形質転換させ同一の遺伝子をもつように組みかえる
細胞はパブ誘導溶液の中で集合をくりかえしやがて一つの生命形態へと生長をとげる!!

……!!
……
おおぉぉ
イブの誕生だっ!!
ククククク…

どうやら
完成した
ようだな
博士

そうとも
ブリンナー
偉大な瞬間だ
わたしは
聖書を
書きかえ
たのだっ!!
ほう
まるで
自分が
神にでも
なった
ようだな

そうだ
わたしが
神でなくて
何であろう
わたしはこの手で
新しい人類を
作りあげたの
だからな!!

フフフ……
新しい怪物の
まちがいじゃ
ないのか

なに…!?
金をもらっている
身だから
大きなことも
いえんが
あんたの
やっている事は
そうほめられる
ことでもないぜ!

だまれっ
金にしか
興味をもたん
男に何が分かる
とっとと
この部屋から
出てゆけっ

フッ

!?

何だ……
これはっ!?

バラバラになって……とけている!?
い……いったいだれの仕業だ

す…すごい弾丸のあとだまるでバズーカ砲ででも撃たれたような……

そうだ…たしか恐ろしく強力な銃があると聞いたことがある

ウム

だが……そんなしろものをもちこめるわけがない…!?
……

……うむ!そうか…その銃の名はシグマ…シグマ45口径!!
うう…やつはすでにここへのりこんでいたのか!!

ま…まさか
おまえが
シグマ……
くそっ!!
ザッ
コロコロ
カラン

こ…これはっ
どうした
わけだっ!?

うっ！
ブリンナー
おまえもかっ

い…いったい
何者の
仕業なのだ……

くそっ
最後の段階で
じゃまされて
たまるかっ

うぬっ!!

やつは女を助けるため ここへも よったようだな

しかし それにしても あの怪物を あのように かたづけるとは…… やつはいったい 何者なのだ……!?

……

まあよい この女がまだ 喰われて いなかったのは こちらとしても 好都合……

わたしをどこへ連れて行くつもりなの？
フフフ…イブの最終テストにぜひ君が必要でね

見ろ！
あれは
米国海軍のほこる
原子力潜水艦
トランダムだっ

わたしはあの
超大型潜水艦を
改造し
研究所として
使っていたと
いうわけさ

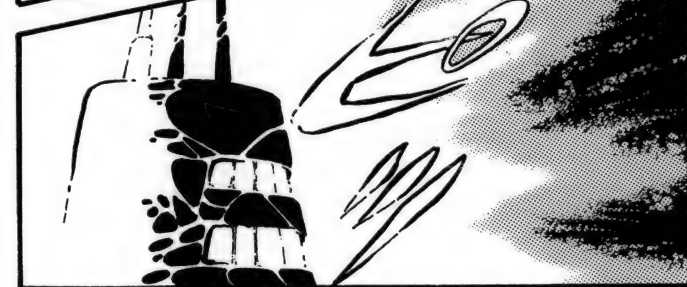
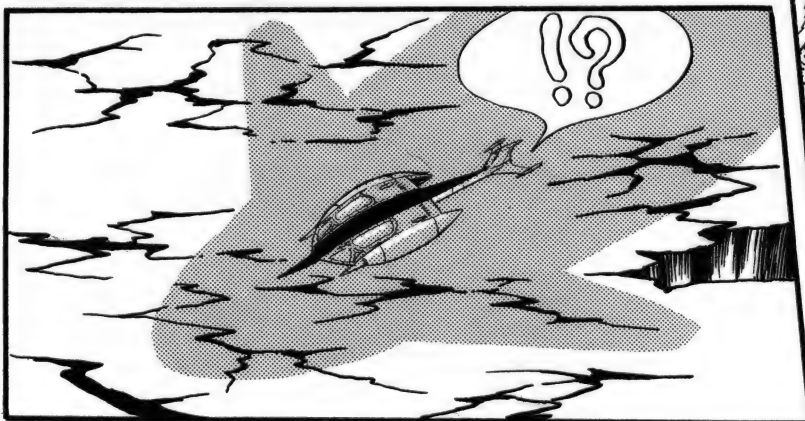
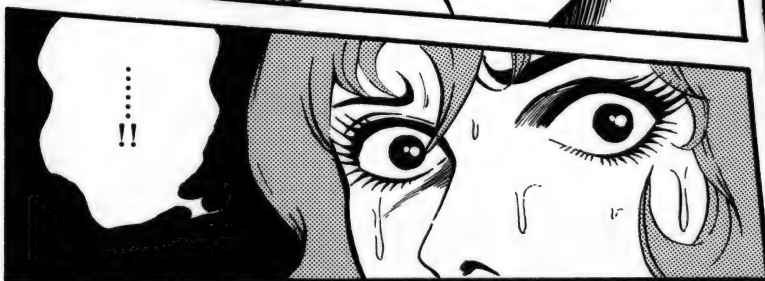
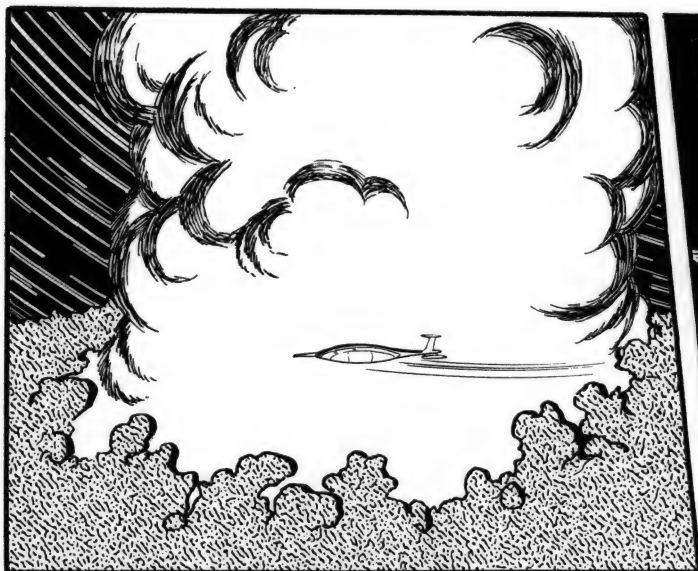
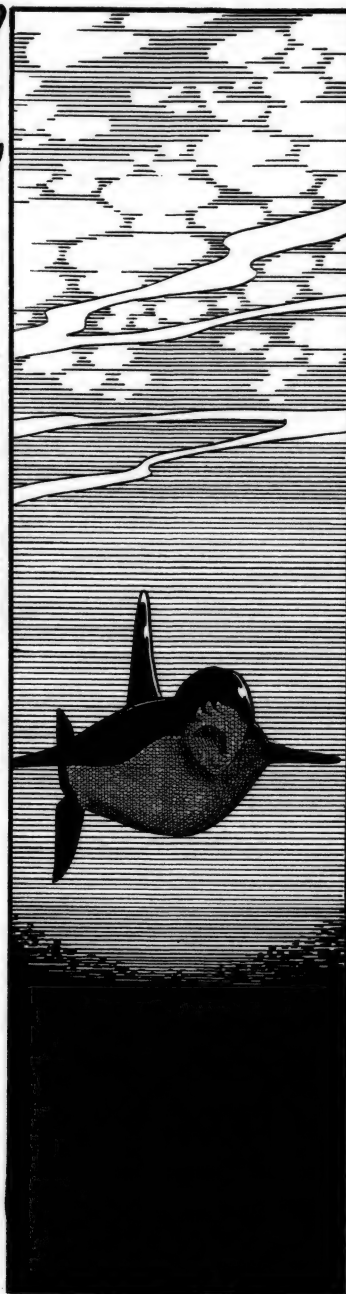
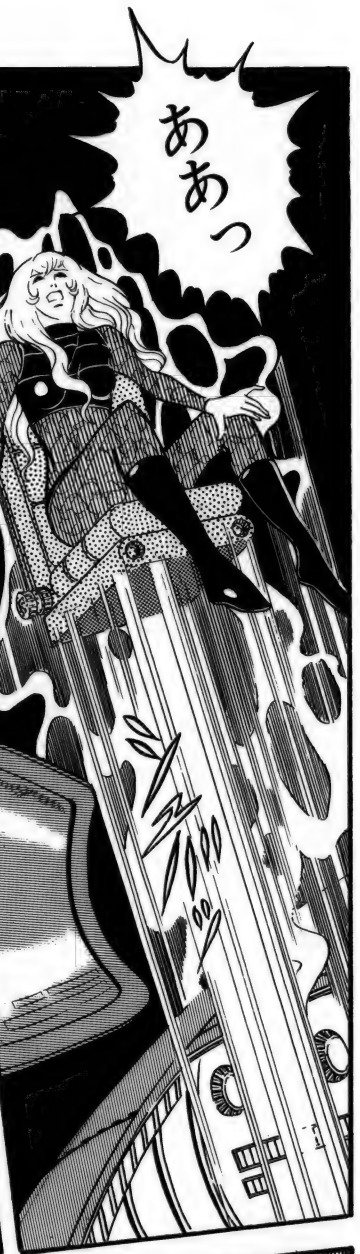
クックック…
しかしもう
あの研究所も
用がなくなった
オメガボーンも
CIAの連中も
一足遅かった
ようだな
わたしの研究は
すでに
完成し終えたのだ!
……!!
!?

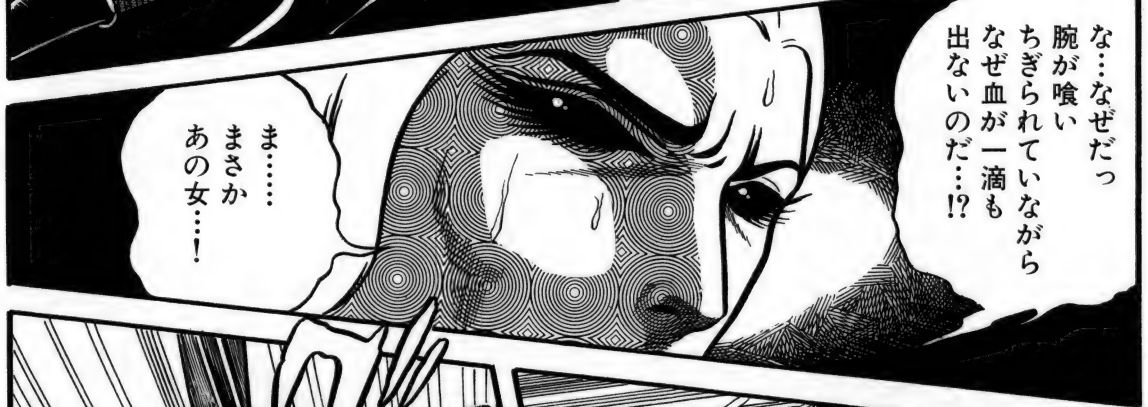
!?

うああーっ

アダムだ
わたしの
かわいい息子…
そして
イブを
紹介しよう
後ろをみたまえ！

あなたは
悪魔だわっ
かわいそうに
ねえさんを
あんな姿に
するなんて!
かわいそう
クックック…
かわいそうなのは
どちらかな
カチッ

ああっ
く……
くるしい
息が……
おまえはイブの
いけにえになるのだ
オメガボーンの
スパイもここまでは
助けにこんぞっ

イブよっ この世に 人類は 一種属で いいのだ！
おまえたち 新人類の前に 過去の人類は もはや カツオやマグロと 等しくただの 動物になったのだ
さあ！ その女を 喰うがいい 人間など おまえにとっては えさに すぎないことを 見せてくれっ
そして いまこそ おまえたちが 新しい世代の 主導者で あることを 実証するのだっ

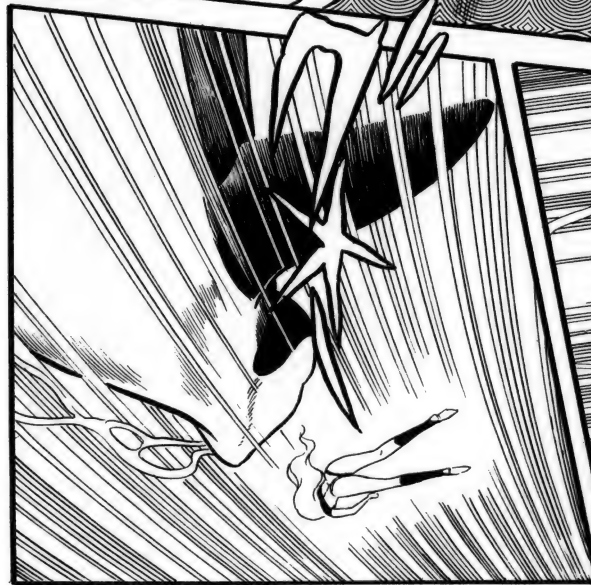
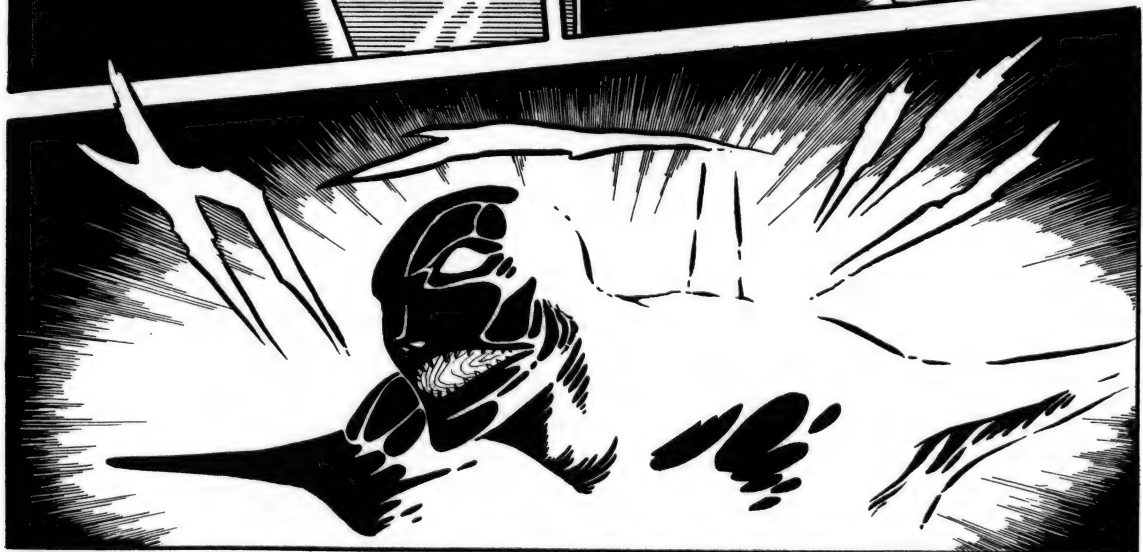
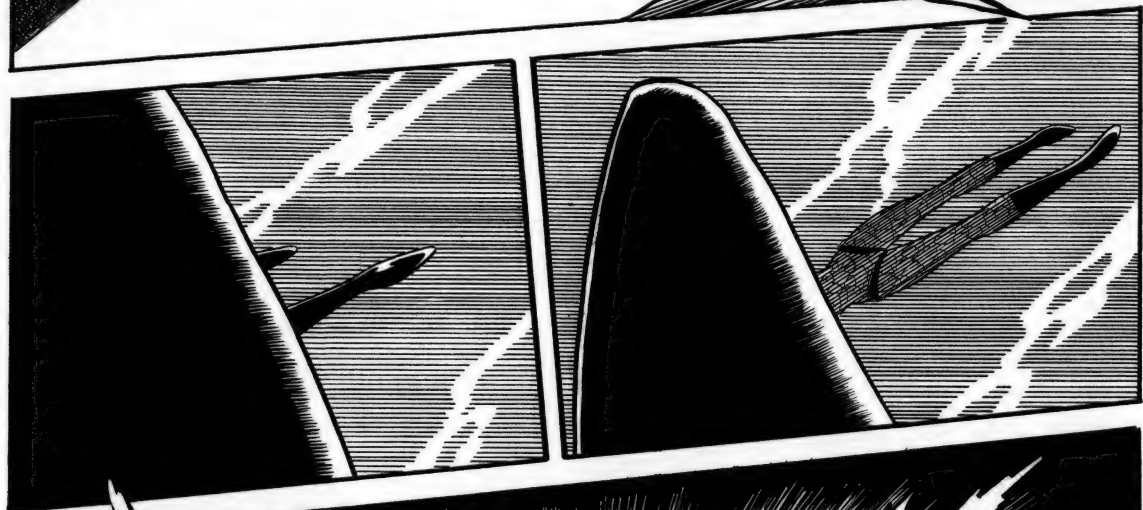
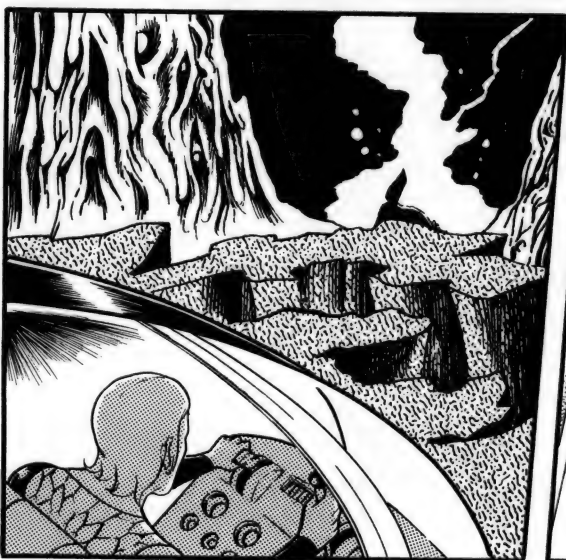
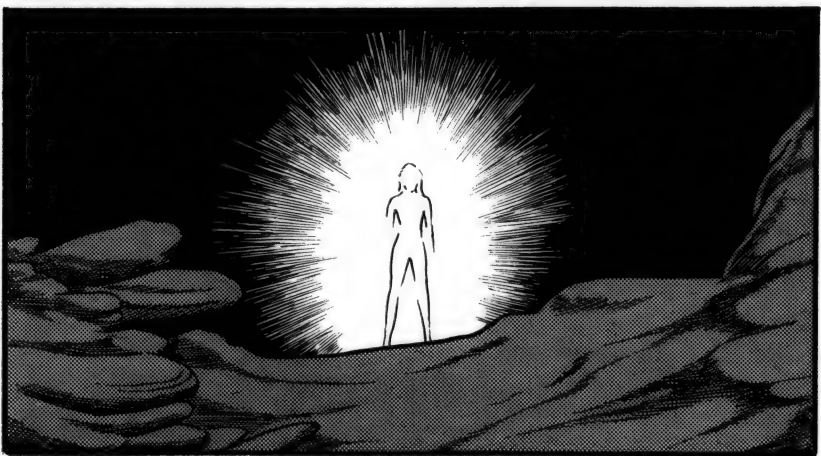
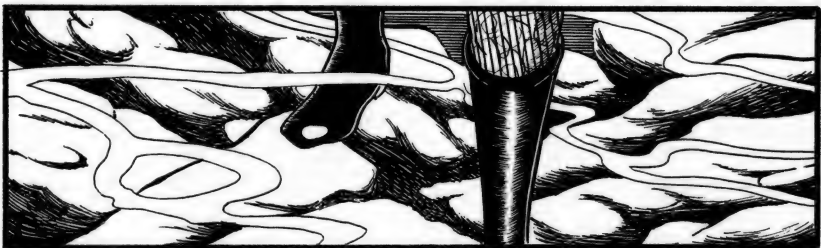
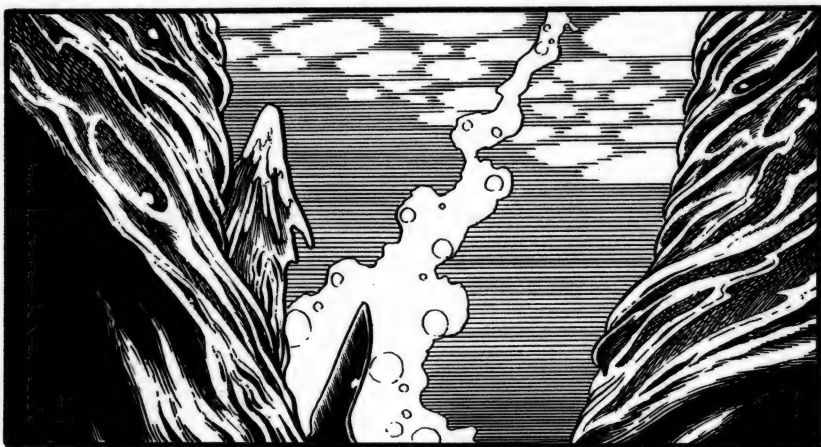
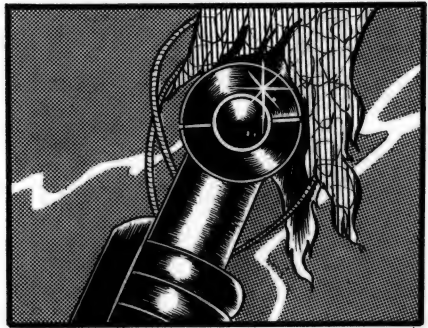
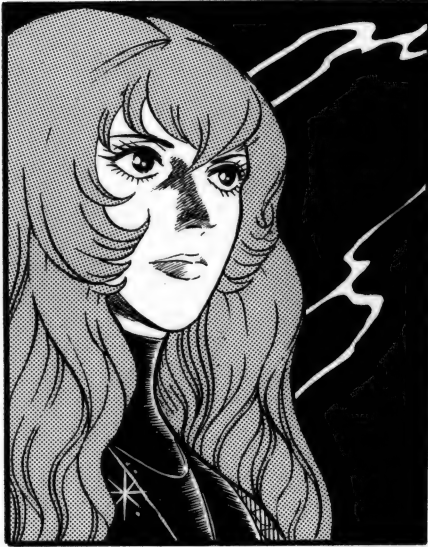
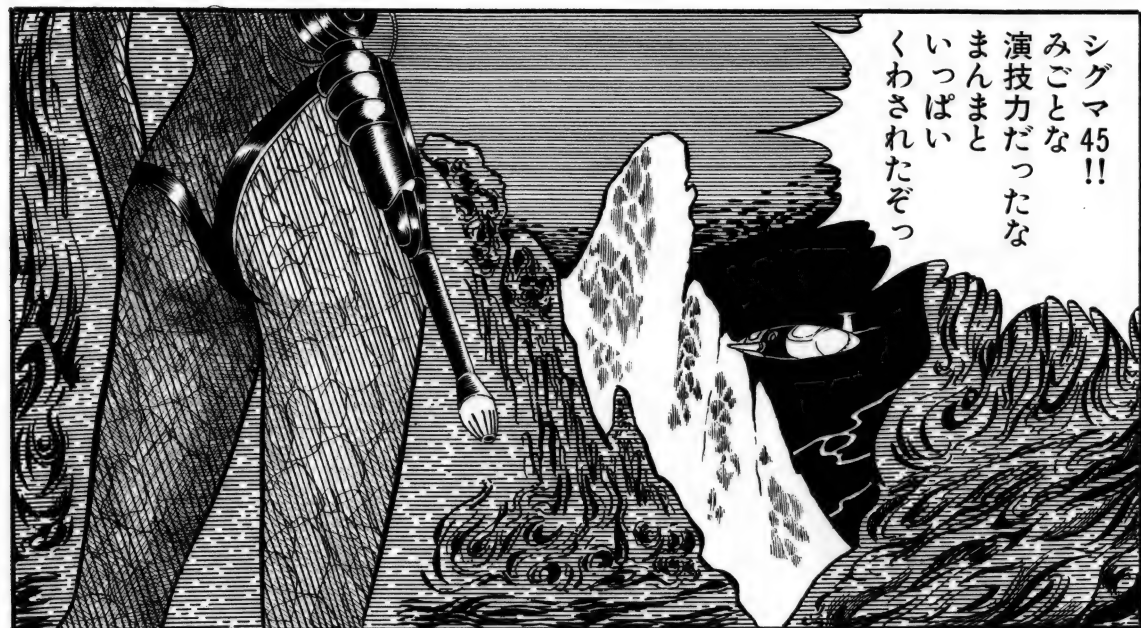
ワッハッハハ
よくやったぞ
イブ！
おまえは今
人類との
最後の絆をたちきったのだっ
ん……
……!?
な…なぜだっ
腕が喰い
ちぎられていながら
なぜ血が一滴も
出ないのだ…!?
ま……
まさか
あの女…!
ま…まてっ
アダムっ

おおおぉ
アダムがっ!!
こ…これは
どうした
ことだっ!!

ウウウッ……
だれだ…
だれが殺ったっ!!

ま……
まさか……

お……
おまえが……

信じられん！

なんということだ
まさか
おまえがシグマ45
だったとは……!!

シグマ45!!
みごとな
演技力だったな
まんまと
いっぱい
くわされたぞっ

しかも
アダムを…!!
だが
おまえに
イブは殺せまい!
彼女は
おまえの実の姉
なのだからなっ

おおお……!!

おのれっ
わたしの
長年の
研究をっ!!

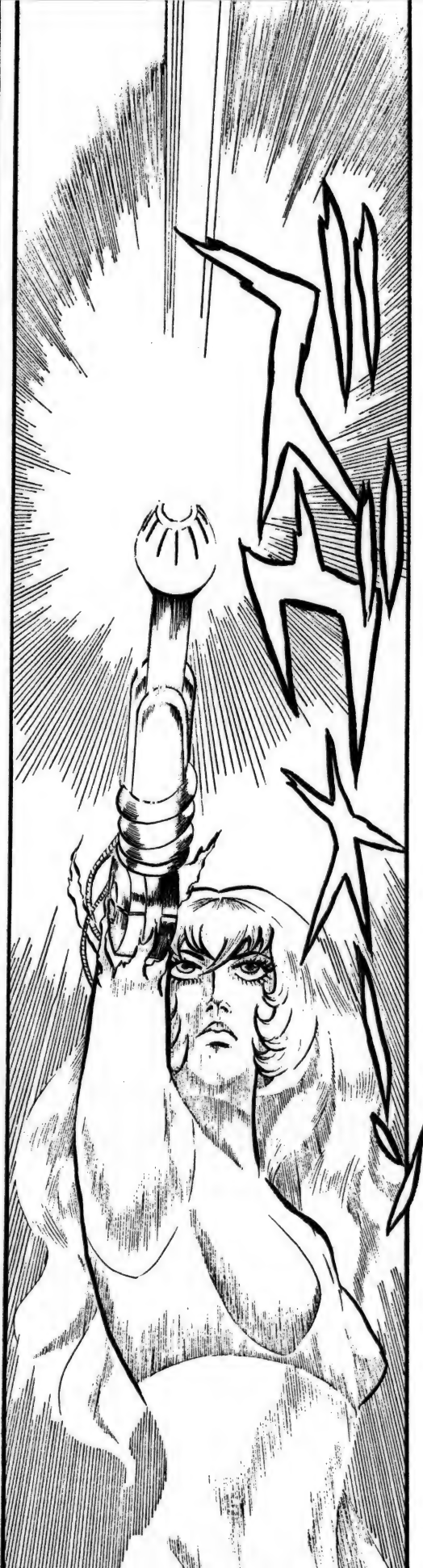
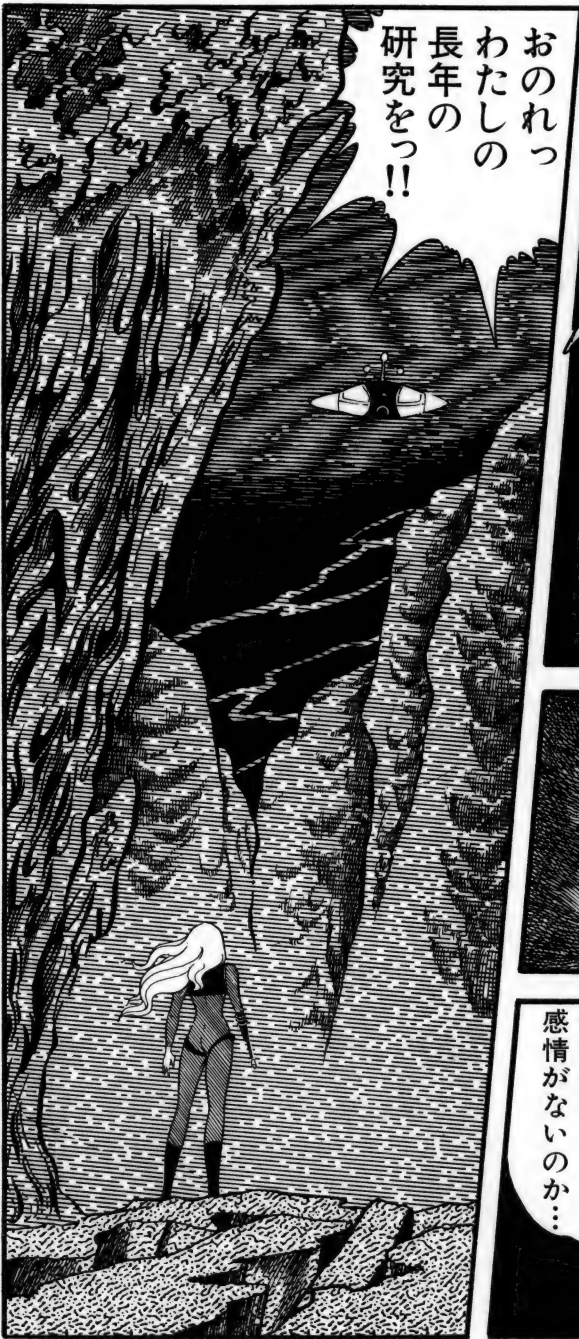
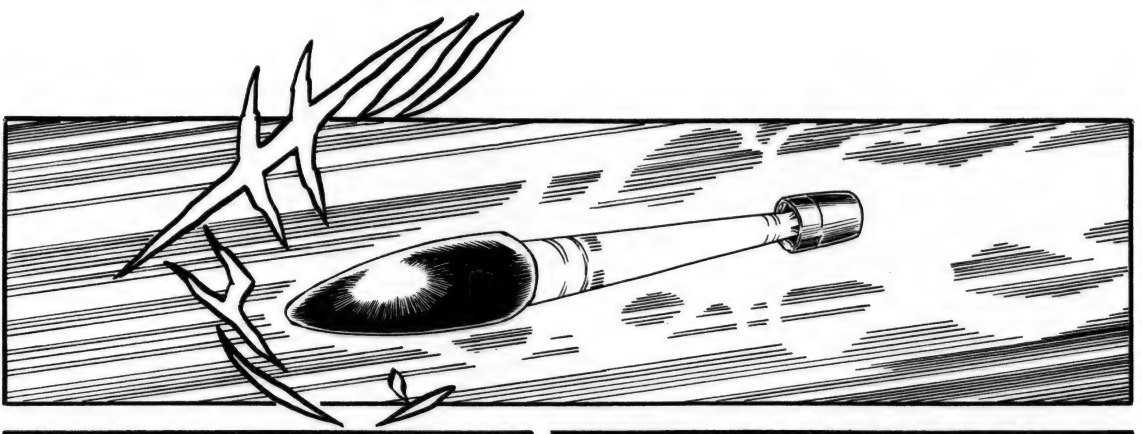
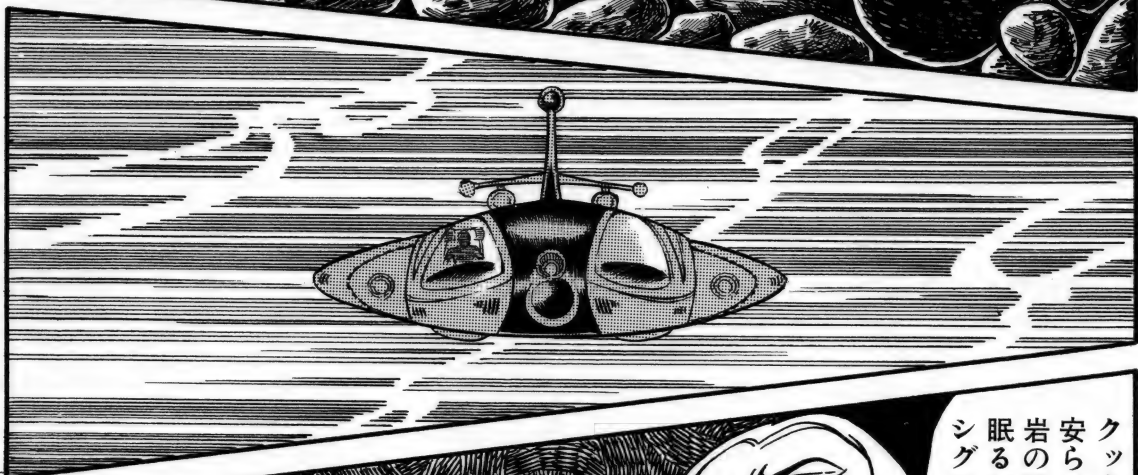
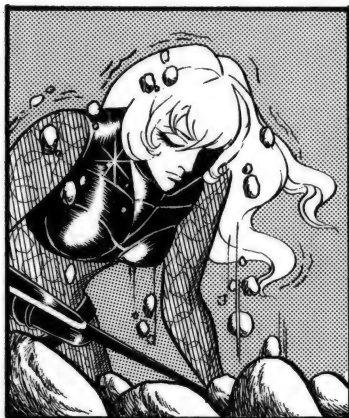
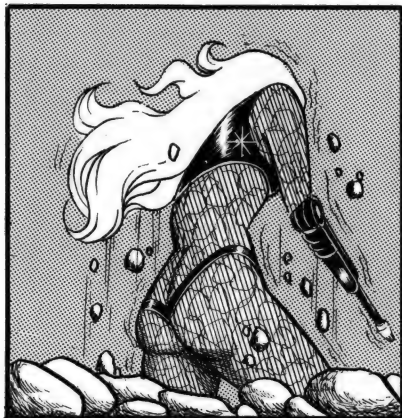
ウウ……
やつには
感情がないのか…

死ねっ
バケモノ!!

クックック…
安らかに
岩の下で
眠るがよい
シグマ45よ!

たしかに……
おまえは
アダムそして
イブまでを殺し
わたしの研究に
大きな打撃を
あたえてくれた

ああーっ

—END—

平成19年1月31日発行

著者　寺沢武一
発行　メディアファクトリー
印刷・製本　大日本印刷

お問い合わせ

コミックフラッパー編集部　Tel.03-5469-4760

MFコミックス

COBRA読者プレゼント